

日刊
オール大阪
さよなら「維新」vol.7

毎日、新しいニュースをお届けしています

「維新政治」による混乱から決別し

まっとうな
大阪を取り戻そう

「維新」府政の8年間は どうでしたか？ くらしも経済も しんどい状況が続いているの ではないでしょうか。

大阪府と大阪市の役割は、大阪経済や医療、福祉、教育、防災まちづくりなど、さまざまな政策課題を話し合い、具体化し、くらしと経済をよくすることです。
「対話」と「協調」の政治に変え、マジメでまっとうな府政をつくりましょう。



- マジメに、大阪。**
女性が輝く街、大阪
1. 輝ける大阪
「天・大阪」を取り戻す
 2. 大切なのは「しくみ」
ではなく「なかみ」です
 3. 不毛な対立から
対話と協調を

元女性府議

私が考える大阪の
未来予想図

府内すべての市町村と協調しながら、近畿圏、西日本のリーダーになるには、けんかばかりしてはダメ！ 一人ひとりの暮らしに「心を配る」府政を。



大阪経済の発展へ、中小企業支援を

いま大阪は全国ワーストの落ち込み。地域経済を支えてきた中小企業支援や商店街のにぎわいづくりをすすめ、大阪経済の底上げを。

行き届いた教育や子育て施策の充実を

女性が生き生きと働けるよう保育所の待機児童解消に全力でとりくむ。不登校や暴力件数が多い事態を解消するため、すべての子どもに血の通った教育を。

ムダとキケンな咲洲庁舎の全面撤退を

咲洲庁舎は活性化につながっていない。職員の移動時間も片道40分のムダ、防災拠点になりえない。すみやかに咲洲庁舎から大手前庁舎に集約し、「二重庁舎」解消を。

元女性府議の政策から

ひとづくり

- 乳児期教育の保護者負担の軽減策を検討
- 私立学校(園)の耐震化100%をめざす
- 公募校長制度の見直し
- 受験生のための入試制度に

あんしんづくり

- 待機児童解消に本気で取り組む
- 子ども医療費助成の府費負担の拡大の検討
- 介護施設待機者の解消

まちづくり

- 南海トラフ地震などの防災対策
- 防潮堤の液状化対策
- 密集市街地の解消
- 淀川・大和川の防災対策

大阪の産業を元気に

- 中小企業支援施策をさらに充実させ効果的に
- 商店街のにぎわいづくり

府政の立て直し

- 徹底した中小企業支援で税収UP
- 咲洲庁舎からの撤退・大手前庁舎への機能集約
- 公募部長・公募校長制度の見直し
- 府民のための職員評価制度に
- (府と契約する事業者に一定額以上の賃金の支払いをする)公契約条例の検討

くらしや景気、財政 良くなったでしょうか

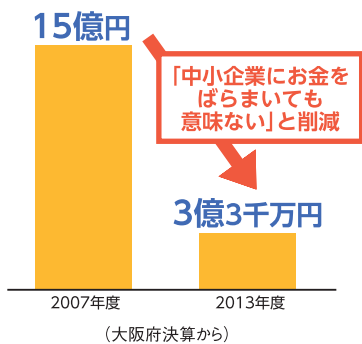
「大阪を変える」と言っていた**今の知事**になって4年。実際は——。言動と事実でみてみましょう。

経済・中小企業

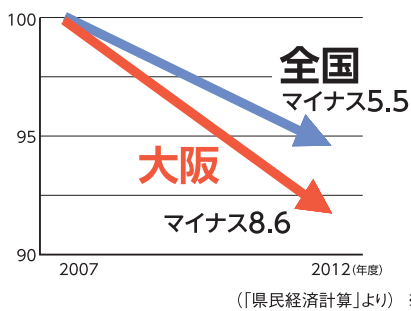
「維新」はマニフェストで「実質成長率を毎年2%以上」と記載。実際は2007年から2012年度の実質成長率はマイナス4%です。

商業振興・ものづくり支援予算を3分の1に削減。
「どこにでもある技術はアジアの件費の安い国でやればよい」と発言。大阪経済を支えるものづくり、中小企業、商店街をないがしろにしています。

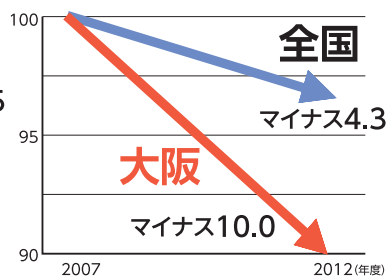
ものづくり・商業予算は激減



雇用者報酬の推移



家計消費支出の推移



教育

「魅力のない学校で定員にも満たない学校に通うことは、生徒自身の成長につながらない」と発言。高校つぶしを推進しています。

高校入試に学力テストの内申点を活用する問題で現場は大混乱。「文科省の慎重な姿勢に従う義務はない」「学テを利用するのがなぜだめなのか」と発言。

パワハラした府教育長を、「問題ない」と擁護。

「校長は、マネジメント能力に長けたものが担うべき」と「公募校長制度」を導入。「口元チェック事件」まで起こしています。

医療

救命救急センターへの補助金カットの復元を求められても、「経営が赤字なら民間にまかせたらい」と拒否。「民間病院が多い大阪では公立病院の役割を見直すべき」と無責任な発言を繰り返しています。

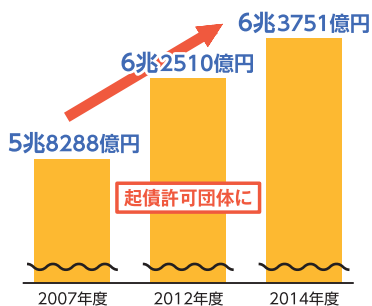
不正・ムダ

政務活動費の不正使用の「維新」議員が続出。知事の退職金ゼロを宣伝。実際には受け取る金額は4年間で348万円も増やしています。咲洲庁舎は撤退をとの追及に「ベイエリアの成長と活性化に咲洲庁舎は必要だ」とムダづかいに固執しています。

府財政

黒字化を宣伝していますが、借金は2011年度の5兆8千億円から6兆4千億円に増え、国の許可がないと新たな借金もできなくなっています。

借金残高



福祉

待機者が急増する特別養護老人ホーム。「他府県より補助単価が高い」と補助金を削減。復元の要求を「財政状況から拡充は困難」と冷たく言い放っています。後期高齢者医療費を抑制するための予算を「全国平均より保険料の伸び率が低い。公費投入による保険料抑制は行わない」と知事の意向でカット。

都構想

「反対多数なら民間人に戻る」と言ったのに、「再挑戦」を表明。「民意」より、自分たちの方が上という態度をとっています。「二重行政の解消で4000億円浮く」（第一回府市統合本部）と言いましたが、実際は、特別区庁舎建設などでばく大なコストがかかり逆にマイナスとなることが判明。今、ダンマリです。

カジノ

国民の反対世論によって国会で前にすすまない事態に「リスクを恐れて何もしないのが日本にとって一番悪いことだ」と推進する姿勢があらわです。



知事さん大丈夫なの？ びっくりポンや！

府市統合本部

府市統合本部の「本部長」は知事ですが、実態は副本部長の橋下氏の意向で次々決定されてきました。府立中之島図書館のあり方では「あんなところに図書館なんて置く必要なし」と言い放つ橋下氏。本部長である知事は「（民間活用すると）すごいスポットになる」と追隨するのみです。